

第六節 戰鬪後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一 石太線及同蒲線ニ對シ大規模且執拗ナル攻勢破壊ヲ企圖セル共產八路軍ニ對シ徹底的撲滅ト其根據地ヲ掃蕩燼滅シ該地區ニ於ケル行動ヲ不可能ナラシムル目的ヲ以テ實施セラレタル今次晉中第一期作戰並ニ其ノ復行作戰ハ敵ニ對シ甚大ナル打撃ヲ與ヘ概ネ所期ノ目的ヲ達シタルモノト信ズ

然レ共敵共產八路軍ノ主力ハ大岳山脈ノ嶮ト無數ノ谷地 地隙等ヲ利用シ巧ミニ我ト決戰ヲ避ケテ分散踏晦セルヲ以テ未ダ完全ニ其戦力ヲ喪失スルニ至ラス將來我作戦行動ノ間斷ヲ窺ヒ一由ヒ蠢動スルコトアルベク不斷ノ警戒戒ヲ要ス

二 馬抗鎮ヲ中心トセル敵主要ナル根據地ヲ燒却燼滅セルハ

敵ハ該地區ニ於ケル駐兵ヲ不可能ナラシメ且隱匿セル兵
器糧秣ノ鹵獲棄却ハ其補給ヲ困難ナラシメ敵ノ蒙レ
ル打撃甚大ナルモ在リト思推セラル又同地區内廣範圍
ニ於ケル電線ノ切斷撤收ハ將來敵ノ迅速ナル連絡ヲ不能
ニシ其ノ補修整備ニハ相當長時日ト多量ノ材料トヲ必
要トシ其ノ損失大ナルモアリ

三、要スルニ今回ノ作戰ニ於テハ相當大ナル成果ヲ收ムルヲ得タルモ
未ダ敵主力ヲ徹底的ニ殲滅スルニ至ラサリシヲ以テ將來尚
引續キ嚴密ナル索敵警戒ニ依リ機先ヲ制シテ敵ノ撃滅ニ
努メ以テ今次作戰ノ成果ヲ完ラシムルヲ要スルモノト判定ス